

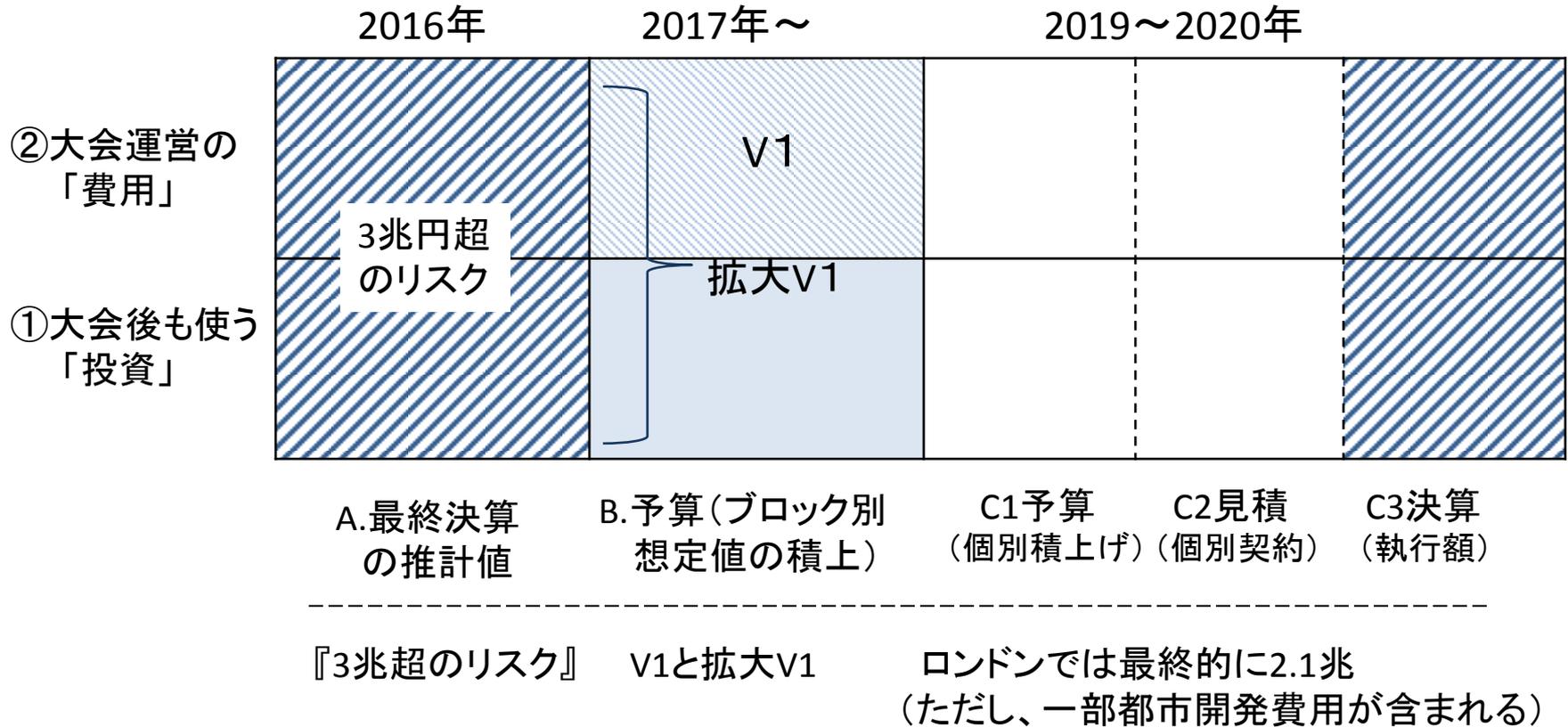
総費用の抑制に向けて

特別顧問 上山信一

- 今までは「総費用(予算)」が明らかにされず、また上限(キャップ)がかぶせられていなかったため、見込み額が膨らんできた
 - ーロンドンでは大会の5年前に開示
 - ー全体及び分野別の上限(キャップ)設定は必須
- 「投資」と「経費」の区分、また投資についても大会運営に必須のものか、関連して前倒しに整備されるものは分けて説明すべき
- 施設整備費よりもソフトな予算(特に輸送、警備等)の額が大きく、見えにくい・・・後になって肥大化するリスクに注意
- 最終決算額が予算を超過しないためのガバナンス構築が必須
 - ー当初のV1、V1拡張ベース(integrated)段階での抑制
 - ーその後の各FA(ファンクショナル・エリア)での「計画」「調達(契約)」「執行」の各段階でのモニタリング(2PのA～C3までの流れ)

実際にかかる額は、今後、しだいに明らかになる ……現時点では予測値が中心

総予算(費用)の「見える化」のタイミング



9月29日調査報告書

(注)この他、大会にも使うが、直接そのためだけではない投資もある(国等が支出)
 (例えば高速道路などの整備前倒し)